

「つなぐ、学ぶ。」の発行にあたって

医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が安全に学校生活を送り、日々の学習や活動を充実させるためには、学校と家庭、医療関係者等との連携・協働が重要です。

東京都教育委員会では、学校における医療的ケアに関する様々な取組について、医療関係者に向けて情報提供するためのツールとして、「つなぐ、学ぶ。」を発行することとしました。学校と医療との「つながり」を強め、子供たちの「学び」の充実に「つなげて」いくことを目指していきます。

専用通学車両の運行が始まりました！

■安全・安心運行！！

都立肢体不自由特別支援学校では、医療的ケアを必要とする児童・生徒のための専用通学車両の運行を、昨年9月から開始しました。全国でも初めての試みであり、様々な検討や調整が必要でしたが、多くの皆様の御協力により、始めることができました。

本年1月には対象校全校で運行を開始し、3月現在、69名の児童・生徒が乗車しています。

■車内の様子 ～もうすぐ出発！～

看護師は、出発前の健康状態を保護者と確認し、運行中も児童・生徒の様子を常に見守り、必要なケアを行い、登校後は、学校内の看護師や担任に引き継ぎます。

出発前の準備中



■本事業を支える保護者の皆様の御協力

本事業の安全な実施には、お子様と一緒に同乗する看護師が必要ですが、看護師が確保できるまでの間は、保護者の皆様にお子様との同乗に御協力いただいております。東京都教育委員会では、本事業を支えてくださっている保護者の皆様に感謝し、その期待に応えるため、これからも看護師の確保に努めますとともに、学校と一体となって、児童・生徒の安全な通学を支援し、学校で学習する機会を拡充できるように前進してまいります。

■児童・生徒一人一人に応じた乗車マニュアルの作成

専用通学車両を利用する児童・生徒は、気管カニューレ抜去やけいれん発作等、緊急時対応が必要となる場合も想定されます。そのため、主治医の皆様には「専用通学車両の乗車に関する主治医意見書」に、個々の児童・生徒の乗車中に行う医療的ケアの内容や緊急時対応等の記載をお願いしています。担任は、保護者や看護師と一緒に試乗しながら、児童・生徒の乗車中の楽な姿勢や同乗する看護師が介助するための方法等の情報を集め、個別の乗車マニュアルを作成しています。主治医の皆様には、保護者を通じて、完成した乗車マニュアルの確認もお願いしています。

■学校医・指導医連絡協議会を開催！



昨年8月21日、都立特別支援学校の29名の学校医、指導医の皆様にお集まりいただき、「専用通学車両の運行に関するガイドライン」について説明するとともに、医療的ケアの安全な実施等について協議をしました。活発な協議となり、たくさんの貴重な御意見をいただきました。

【ガイドライン等、東京都教育委員会の医療的ケアに関する資料は、下記のURLに掲載していますので、御覧ください。】

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/document/special_needs_education/medical_care.html

「特別支援学校における医療的ケアセミナー」を実施しました！

小沢先生の講演



保健室や教室等の学校
施設見学会をしました。

2月1日（金）に都立八王子東特別支援学校を会場として初めて開催しました。会場校の三浦校長先生による、学校での医療的ケアの実際についての説明や講師である島田療育センターはちおうじ所長小沢浩先生による、主治医として、医療的ケア指導医としての具体的な実践事例の紹介等がありました。当日は、主治医や訪問看護師、放課後デイサービス事業所や福祉施設の職員等、特別支援学校や医療的ケアについて興味・関心のある40名の方の参加がありました。東京都教育委員会では、今後もこのような取組を通して、学校と医療との連携を深めていきます。